

平成28年度



平成29年3月22日

京都市立新町小学校長 田宮 みゆき

TEL：075-432-4190

E-mail：shinmachi-s@edu.city.kyoto.jp

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shinmachi-s/>

学校評価のアンケート結果から ～よりよい新町小学校を目指して～

保護者，児童，教職員のアンケート結果から，本校の取組について分析や検討を行いました。その結果をもとに，さらによりよい新町教育の充実と発展を目指していきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

初めに，アンケートの結果をお知らせします。アンケートは，各質問に4つの選択肢で回答していただきました。

A（よく出来ている） B（大体出来ている） C（あまり出来ていない） D（出来ていない）

【保護者アンケート】

	項目	A	B	C	D
1．子どもの様子について					
①	授業中，子どもが意欲的に学習すること	29.4	64.7	5.7	0.2
②	授業中，子どもが進んで自分の考えやおもしろいを話すこと	27.1	52.3	19.7	1.0
③	子どもが，楽しく元気に学校に通うこと	62.6	33.6	3.1	0.7
④	子どもが，何事にもチャレンジし，ねばり強く最後まで活動すること	26.5	58.6	13.9	0.9
⑤	子どもが，進んであいさつすること	28.3	51.5	19.2	1.0
⑥	子どもが，他人にやさしさや思いやりをもって接すること	35.7	60.0	4.3	0.0
⑦	子どもが，早寝・早起きをし，適切な睡眠時間を取ること	27.2	41.6	27.0	4.3
⑧	子どもが，朝ごはんをきちんと取ること	65.7	28.1	5.7	0.5
⑨	子どもが，学校などの公共の場所で約束やルールを守ること	43.4	51.7	5.0	0.0
2．家庭や地域について					
①	家庭で子どもが，テレビゲームなどの時間や約束を決めて守ること	18.2	43.7	30.7	7.3
②	家庭で子どもとの会話の時間をもつこと	31.4	59.6	8.6	0.5
③	家庭学習の習慣をつけたり，内容の充実を図ったりすること	23.2	51.7	22.0	3.1
④	学校だより（学校・学年・学級だより・PTAだよりなど）をよく読むこと	19.1	60.5	19.4	0.9
⑤	学校行事やPTA主催の行事などに積極的に参加すること	11.4	52.4	31.0	5.2
3．学校の取組について					
①	学校運営協議会の取組について知ること	17.9	54.2	25.5	2.4
②	学校運営協議会の取組を，学校教育に生かすこと	24.2	58.3	16.1	1.4
③	学校が積極的に学校情報を発信すること（学校・学年だより・ホームページなど）	43.8	53.8	2.4	0.0
④	学校が，いじめのない人権を尊重した教育を進めること	28.4	65.4	5.0	1.2
⑤	学校には何でも相談しやすい雰囲気があり，教職員が丁寧な対応をすること	40.2	55.3	3.3	1.2
⑥	学校が，保護者・地域と交流を深め，地域ぐるみの学校づくりを進めること	41.5	54.9	3.1	0.9

【児童のアンケート】

	項目	A	B	C	D
①	毎日，楽しく学校へ行くこと	70.5	22.4	6.2	1.0
②	学習やクラスの活動などいろいろなことに，やる気をもってちょう戦すること	58.4	34.4	5.5	1.6
③	楽しく授業を受けること	58.6	34.5	4.6	2.3
④	授業中，進んで自分の考えやおもしろを発表すること	44.6	34.2	16.9	4.2
⑤	授業のめあてに合わせてふりかえりやまとめを書くこと	56.5	34.6	6.9	2.0
⑥	授業中，友だちに教えたり友だちから教えてもらったりすること	60.4	29.9	8.1	1.6
⑦	ぐんぐんタイムなどでする計算や漢字などの基礎的基本的な学習をすること	60.4	31.5	5.5	1.6
⑧	自分で課題を見つけ，自主学習を毎日すること	45.5	26.6	23.1	4.9
⑨	学習の準備をきちんとすること	57.8	31.5	9.7	1.0
⑩	学校やクラスのきまりを守ること	63.0	31.2	5.2	0.6
⑪	掃除をきちんとすること	68.4	27.7	3.3	0.7
⑫	早寝・早起き・朝ごはんを守ること	44.8	38.0	12.7	4.5
⑬	自分から進んであいさつすること	66.8	28.0	3.6	1.6
⑭	男の子や女の子に関係なく，だれとでも仲良くすること	59.9	27.7	10.7	1.6
⑮	道徳など，他人の気持ちを考える学習をすること	66.6	27.6	4.5	1.3
⑯	たてわり活動などで違う学年の友だちとの活動に進んで参加すること	60.4	28.9	8.4	2.3
⑰	自分や友だちを大切にすること	84.0	14.0	1.3	0.0

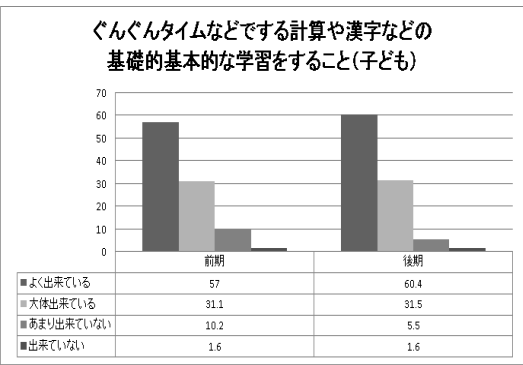
※教職員アンケートの結果は紙面の都合上，学校のホームページにて掲載しています。

今回は，12月に実施させていただきました学校評価にかかわるアンケートの結果をもとに，前期の評価と比べながら後期の取組の成果と課題について考察したことをお知らせします。

【学習面について】

ぐんぐんタイム

児童のアンケート項目②～⑨は学習に関する項目です。後期も，ほとんどの項目で「よく出来ている」「出来ている」のプラス傾向の回答率が90%を超えていました。前期同様に，どの学年の子どもたちも意欲的に学習できているといえます。特に，ぐんぐんタイムに関する質問項目⑦では，前期と比べて「よく出来ている」の回答率が2.6%上がり，マイナス傾向の回答率が減少しました。ぐんぐんタイムは，全校で曜日によって学習する教科を決めて取り組んでいます。例えば，月曜日と金曜日は算数となっています。計画的に続けて取り組むことでぐんぐんタイムでの学習が子どもたちにとって見通しのもてるものとなり，定着してきたのだと思います。また，後期からは，学年や学級の課題にあった学習内容に取り組むようにしたことも，子どもたちの意欲の継続につながったのだと考えています。今後

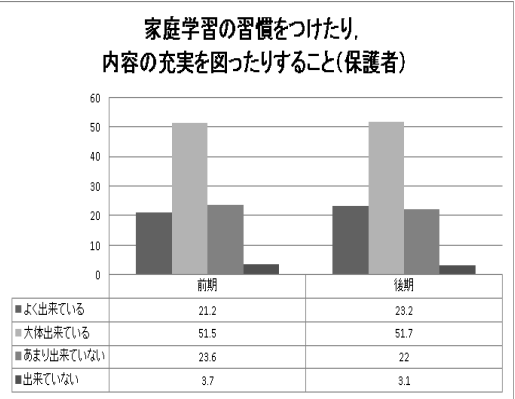
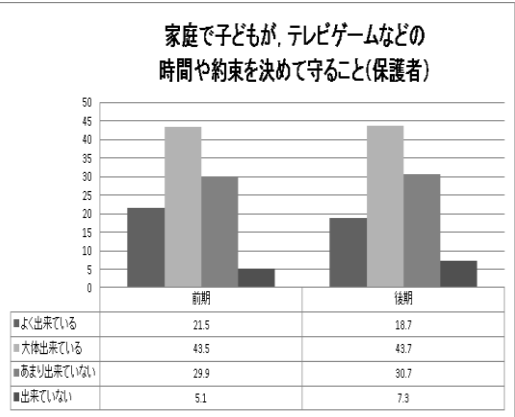


は、一層の学力向上のために、子どもたちが自分の課題に合わせて学習プリントを選択するなど、学習習慣を身に付けることにつながるような取組も必要であると考えます。

自学自習とスマホ

質問項目⑧も学習習慣に大きく関わる質問です。自主学習についても70%以上の子どもたちがプラス傾向の回答をしていますが、他の項目に比べると、マイナス傾向の回答率が高くなりました。

また、前期に比べても、マイナス傾向の回答率が少しではありますが高くなりました。家庭学習を問う保護者の質問項目2―③でも前期と大きな変化はありませんでした。しかし、自主学習と関わるテレビゲームなどの時間を問う2―①の項目ではマイナス傾向の回答率が少し高くなるがありました。テレビゲームの時間と学力は大きく関わっていることは、様々なアンケート結果からはっきりとしています。学校保健委員会でも、スマホでのゲームやインターネットの依存が話題に上がっていました。その解決策は子どもによって違うとは思いますが、学習時間を決めて取り組むことも方法の一つではないでしょうか。「ゲームの時間を決めるのだけど、なかなか守らせられない。」ということをよく聞きます。ゲームができる時間だけを決めるのではなく、合わせて勉強する時間を決めてみてはどうでしょうか。「約束した時間の勉強が済んだら、遊んでもいいよ。ただし、ゲームは〇時間ね。」とすれば、子どもも集中して学習し、決めた学習が済んでからということ親も少し安心できるのではないのでしょうか。また、スポーツ、音楽など、子どもが自ら頑張れることをみつけることもよい方法かと思えます。



表現する力

前期の学習面の課題として、質問項目④の授業中に発言する子どもに偏りがあるのではないかとということがありました。それを受けて、生き方探究の視点から毎時間の授業を見直し、子ども同士がかかわりながらお互いを高め合う授業に取り組んできました。後期のアンケート結果の質問項目④では、「よく出来ている」の回答率が少し上がったもののほぼ前期と変わらない結果でした。保護者への質問項目1―②でもプラス傾向の回答率としては、ほぼ変わりませんでした。表現力という視点で、後期を振り返ると、生き方探究教育の学習にかかわる生活科やわくわく学習(総合的な学習の時間)で、1年ポップコーンパーティ、2年おいもパーティ、4年2分の1成人式、5年感謝の会、6年わくわく学習発表会といった学習のまとめとなる会がありました。(3年生は、総合的な学習の時間のまとめとして、2年生に向けて発表会を行いました。)どの学年の子どもたちも、よい発表会にしようと、目標をもって意欲的に取り組みました。特に、6年生は、相手意識をもちながら、「分かりやすい」「楽しい」発表ができました。1～5年生もはきはきとした聞き手に届く声で発表できました。どれも、その日において熱心に練習してきたことが分かる発表でした。今後は、発表会以外の授業の場面での表現力を身に付けていきたいと考えています。そのために、友だちが分かるように図や資料などを指し示したり、指示語を使うなどしてできるだけ短い言葉で説明したりするなど、話し方の技能を身につけていくことも必要だと思います。分かる説明をすることで、子ども同士の意見交換が生まれ、より考えを深める授業づくりへとつながっていくと考えています。

【生活面について】

規範意識に関する子どもへの質問項目⑩、⑪、⑬は、前期同様にプラス傾向の回答率がどれも90%を超えていました。今回のアンケートは、12月に行ったものです。大きな行事が終わったこの時期、気持ちが緩みがちになることが多いのですが、新町小学校の子どもたちは、1年を通して個々に目的をもって学校生活を送れているといえます。ただ、早寝・早起き・朝ごはんにかんする質問項目⑫は、子どもへのアンケート、保護者へのアンケートいずれもプラス傾向の回答率



が比較的低いことから、今後も朝会や各おたより等と通じて、呼びかけ続けたいと考えています。

【学校の取組について】

「学習面についての表現する力」でも紹介しましたが、生活科やわくわく学習でのまとめの会や発表会は、子どもたちが生き生きと発表し、どれも素晴らしい会となりました。このような子どもたちの姿は、生き方探究教育の取組の一つとして重点的に取り組んできた結果であると考えています。また、それぞれの発表会に、地域や保護者の方がたくさん出席してくださったことが、発表に向かう子どもたちの意欲を掻き立てることに大いにかかわっていたのだとも考えています。発表会での姿同様に、子どもたちは、充実した毎日を学校で過ごしていることが普段の様子から窥えます。子どもへの質問項目①や⑦のプラスの回答率が高いこともそのことを裏付けています。これは、地域や保護者の方が、発表会にたくさん参加していただいたように学校の取組への理解と協力があったのだと思います。今年度も、新町小学校の子どもたちは、多くの大人に見守られ、様々な活動や学習を通して豊かな心を育むことができたといえます。来年度も、子どもたちのより良い成長のために、教職員一丸となって取組を進めたいと考えています。引き続きご支援ご協力よろしくお願い致します。

学校運営協議会理事会より

学校運営協議会理事会では、学校評価の結果から、次のようなことが話題に上りました。

- ・それぞれの発表会では、子どもたちの一生懸命な姿が見られてよかった。発表会当日だけでなく、わくわく学習が子どもたちにとって楽しい学習であったことが伝わってきた。楽しみながら学ぶことは、学ぶ意欲を育むうえでも、大切なことであり、このような取り組みを続けてほしい。
- ・感謝の会の5年生の発表を聞いて、子どもたちが文化教室等でわたしたちが(学校運営協議会の方が)かけた言葉を細かく覚えていることに驚いた。子どもたちとの一つ一つのかかわりを大切にしたいと思った。
- ・学校運営協議会の取組を通して6年生の子どもたちの成長を身近に感じる事ができて嬉しく思った。



